# ネットワーク通信 Vol.120 秋号

株式会社スカイ　2022年10月20日発行　URL: https://www.sky-precut.jp/



■本社　静岡県磐田市上野部2740-5　TEL 0539-63-5500 FAX 0539-63-5633
■関東営業所　神奈川県相模原市南区大野台3-25-17　TEL 042-704-6211 FAX 042-704-6212


## スカイパネルを採用頂くにあたって
### ―「打ち合わせ」と「施工」の流れ―

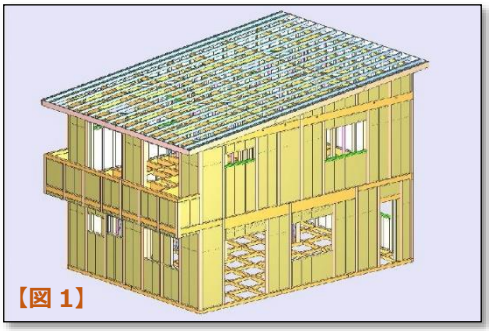
スカイパネルの販売開始以来、二年を迎える今、専用の工場竣工に向けた動きが急ピッチで進められています。
これまで何度か紹介して参りましたが、実際には完工までの流れについて、不明点もあるように思います。
そこで今回は、その不安を取り除くべく、「打ち合わせ」と「施工」の部分に焦点をあて、ご説明します。

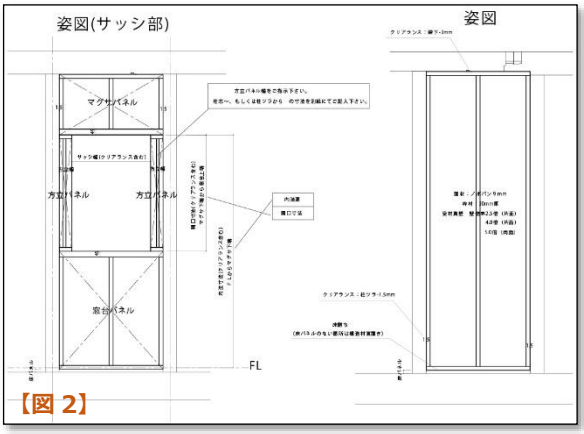
**プレカット発注時にパネル採用を！**

お客様による「スカイパネル」の採用にあたり、打ち合わせ・図面確定までどのように進んでいくのか、その工程をご紹介します。
弊社へプレカット発注の際に、「スカイパネル」も同時にご注文頂ければ、特別な打ち合わせはほとんど必要ありません。
普段のプレカットの打ち合わせ**＋**「窓台マグサ方立（サッシ寸法）」について確認する程度で済んでしまいます。

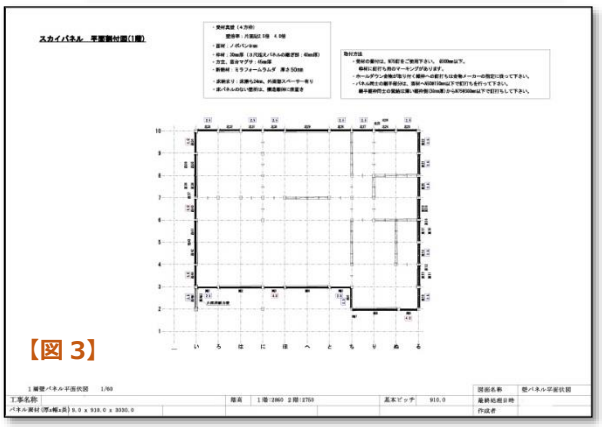
初回プレカット図作成の際に、予め決められた耐力壁（外周面材耐力壁）に応じたスカイパネル図面と**「窓台マグサ方立（サッシ寸法）」**打ち合わせシートをお送りしますので、そのシートに沿って打ち合わせを行い、図面確定となります。

もしも壁パネルを他社へ注文する場合、弊社とのプレカットの打ち合わせとは**別に**、打ち合わせスケジュールの調整や図面の確認、また搬入等の打ち合わせが二重に発生する事は避けられません。
弊社への同時注文により打ち合わせの部分や**連絡系統も一元化**出来る為、「施工現場での省力化」だけでなく、打ち合わせ全体の**〝手間の削減・省力化・期間短縮〟**へと繋がっていきます。


【図 1】



【図 2】



【図 3】

【図 1】スカイパネルを使用した住宅の 3D 画像
【図 2】姿図
【図 3】プレカット図


CAD設計部　築瀬　隆志

スカイパネル取り付けの作業順序は、一般的に建て方当日、躯体の施工と同時進行で行います。

（イ）躯体の施工が二階床組み、もしくは小屋組みまで進んだところで、一階からスカイパネルを取り付けていきます（画像①参照）。パネル自体が真壁仕様の為、建物内側外部どちらからでも設置することが可能です。パネル自体の重量は、大きいパネルでも二人で持ち運び可能です。小さいパネルであれば一人で持ち運びが可能で、尚且つ取り付けまで出来ます。

【画像①】スカイパネル施工風景

（ロ）躯体への取り付けは、パネル内側の枠材から柱・梁に向けてN75の釘打で固定します。釘を打つ場所には印字が施されています。

（ハ）最後に、スカイパネルの外周には柱・梁のクリアランスを塞ぐ為、気密テープを貼ります。

これがスカイパネル設置までの一連の流れになります。（画像②参照）

【画像②】スカイパネル施工後

建物が30～35坪程度であれば、**一日で躯体の完成とスカイパネルの設置完了まで進めることが可能**です。

スカイパネルの作業のほとんどが建物内部からになりますので、施工における安全性も高いと言えます。

建設部　興津　正和

## スカイパネル　施工時のメリット

**① 金物工法と相性が良い！**

**金物工法と組みあわせた場合は、「施工スピードのアップ」や「各部の納まりがスッキリする」等メリット有。**

※金物工法でない場合も対応は可能。但し、ホールダウン金物との干渉や使用する柱頭柱脚金物の種類の増加等の問題が発生し、その対応方法の検討を行わなければなりません。

**② 釘ピッチが正確！**

現場管理の立場からいつも悩まされるのが、耐力面材を現場施工とした場合、「釘のピッチの不均一」や「釘のめり込み深さ」。その点スカイパネルは工場内で生産する為、**釘のピッチが正確**且つ**釘のめり込みがない**事も魅力！

**③ 現場での雨対策が可能！**

事前に打ち合わせを細部に渡って行えば、サッシの左右のパネルも作成でき、パネル設置後、即サッシの取り付けが可能となり、**短期間で外周部を覆うという雨対策にも繋がります。**

**④ 断熱材が取れることなく、作業性が高い**

スカイパネル内部には、標準仕様として、断熱材「ミラフォームラムダ（押出法ポリスチレンフォーム）」の 50 ㎜厚を取り付けています。断熱材の固定方法として、枠材に溝をつけて断熱材をはめ込んでいるので、**施工時に断熱材が取れることはなく、また、壁を塞いだ後に断熱材が取れることもない為、安心。**

## スカイパネル工場　稼働遅延のお知らせ

本紙面上でも度々ご案内してきました「スカイパネル（壁パネル）工場」ですが、当初は年内の稼働開始を目標に準備を進めておりました。

しかし、昨今の半導体不足をはじめ、様々な部材調達の遅れが影響し、生産ライン構成の一部に調整遅延が生じております。

つきましては、来年の新春稼働を目途に、改めてご案内いたします。

ただし、工場建屋は完成しており、計画の一部である「断熱材の加工」は、可能な状況です。スカイパネルの製造に先立ち、床を中心とした、断熱材の加工対応を進められるように、調整作業を行っている最中です。

詳細は営業までお問い合わせ下さい。

代表取締役　金澤　和孝

# ＷＲＯジャパン決勝大会in浜松　開催
## ―木質球体トロフィーを制作―

去る8月28日、浜松アリーナにて「ＷＲＯ（ワールド・ロボット・オリンピアード）ジャパン決勝大会 in 浜松」が開催されました。

この大会は、世界75ヵ国以上の国と地域の小中高校生、大学生が各々ロボットを制作し、プログラムによる自動制御技術を競うコンテストです。

**※各国の代表が集う国際大会は11月にドイツ ドルトムントにて開催**

日本代表を選抜するＪＡＰＡＮ決勝大会は、ものづくりの街〝浜松市〟にて3年ぶりのリアル大会となりました。

【画像①】表彰式

弊社では大会開催にあたり、表彰式にて贈呈される「木質球体トロフィー」の計24個を制作し提供しました。（画像①②参照）

トロフィー制作にあたっては、次の3つのテーマを掲げました。

**① 世界＝地球をイメージ**

国際大会であることから、球体にすることで世界（地球）をイメージしています。

**② ＳＤＧｓの一環**

ＳＤＧｓへの意識が高まっている今、循環型社会への取り組みとして、材料には、ＣＬＴの端材を利用しています。

【画像②】木質球体トロフィー

**③ 高度なプログラミング技術**

本大会の主旨であるロボットプログラミング技術同様、こちらの球体もＣＡＤを駆使した高度なプログラミング技術により機械加工しています。（画像③参照）

【画像③】機械加工の様子

またトロフィーに印字されている文字は、㈱フクダサインボード社によるレーザー彫刻にて描かれています。

トロフィーの形は同じですが、木材の年輪により模様は様々です。まさに、**世界でたった一つ、オンリーワン**のトロフィーです。

この他にも様々な贈呈品等を制作しております。

弊社は、未来に向かって更に木材の利活用と高度加工を目指していきます。

建設事業本部　小島 崇

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

**訂正**

## 前号（ＶＯＬ．119）1面掲載内容について、訂正のお知らせ

前号1面に掲載した「耐震性能は施工管理で決まる⁉」の記事内において一部、不適切な内容がありましたのでここで訂正させていただきます。

釘のピッチ、めり込み具合が耐震性能に及ぼす影響を中心に記載しておりましたが、面材の「へりあき寸法」を意識していない写真を掲載してしまいました。

正確には、合板の「へりあき寸法」を、最低限10㎜確保した上での施工が必要になります。

左図は、大壁使用にはなりますが、グレー本に記載されている内容を改めてご紹介致します。

**■構造用合板大壁仕様（告示）グレー本より抜粋**

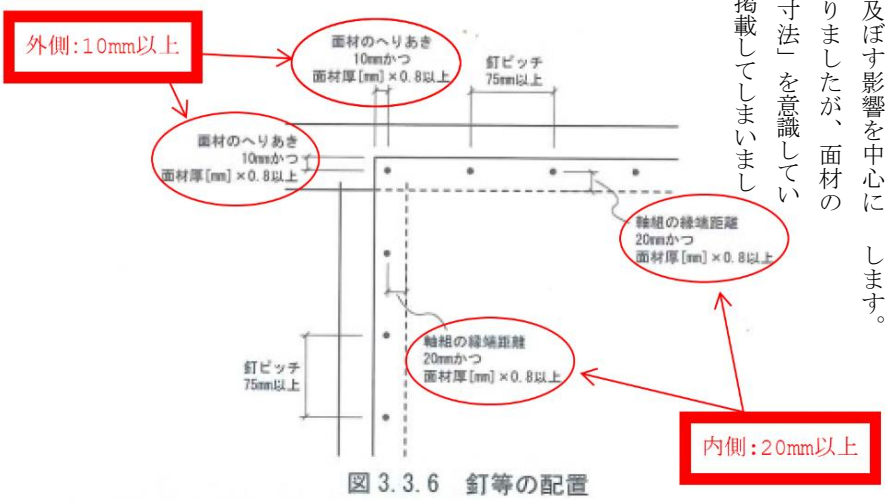



図 3.3.6　釘等の配置

※大臣認定の仕様は、認定書に従う必要があります。
（ノボパン大臣認定仕様は縁端距離 12 ㎜です。）

# 安逸の中に過ぎた三十年
## ～それでも現実を正視しない井の中の蛙～

一酔三幸寮主

九月三十日の朝刊（東京新聞）に、魯迅執筆の「藤野先生」という短編を題材にしたコラムが載っていた。

私も魯迅の作品は好きで、代表作の「阿Q正伝」は、トルストイの「イワンの馬鹿」と並ぶ社会風刺作品である。一八八一年、浙江省紹興に生まれ、一九三六年没。

さて、このコラムを読んで、私が五十年以上前にこの短編から感じた「日本人としての恥ずかしさ」を思い出した。

一九〇四年から一九〇六年にかけて留学生として仙台の医大で学ぶ魯迅が、学内の試験で高得点を取る。すると匿名で、中国人の不正受験による高得点を攻撃する文書が出回る。

魯迅はそれに対して、次のように書いている。「中国は弱国である。点数が六十点以上あるのは自分の力ではない。彼らがこう疑ったのは、無理なかったのかも知れない」。

当時、日清戦争に勝利し、日露戦争でも勝利を目前にした日本は、この二つの戦争の目的たる韓（朝鮮）半島支配を明確に目指していた。国家目標の強力な推進の背景には、国民の圧倒的支持が必要である。その支持の表現形態が、清（中国）と李朝（韓国）に対する根拠無き蔑視だったと言える。

後に我が国も、マッカーサーから「日本人精神年齢十二歳説」を唱えられて口惜しい想いを味わうのだが、残念乍ら、これによって過去を愧じる日本人が何人いただろうか…。それは現在に続く歴史が明確に示している。

現在、中国は対日本3倍超のGDPで、今後更に差は開いていく。又、ドイツが日本を抜いて、世界第三位となるのは確実である。又、韓国は一人当りGDPと所得で、既に日本を上回っている。

十年ほど前から、私は中国や韓国の人達に会う機会がある度に、「もうすぐ貴方の国は日本を追い抜きますよ。百年にも及ぶ劣等意識は、実に下劣で無意味なものだったと、分かるようになります。」と、冗談半分に話していたのだが、まさにその時が到来してしまった。

さて、残念乍ら、未だに日本人の中で化石のような無知頑迷の国粋主義者が、内弁慶的勇猛性をもって遠吠えしているようだ。

〇〇ファーストなどと、臆面も無く我利我利（ガリガリ）妄者を自称する輩は、本来の日本人的美質たる謙虚と謙譲を、まさに日本の文化的業績の中から学び直してもらいたい。

冒頭に戻るが、魯迅の「藤野先生」から、日本人である自分を恥ずかしいとさえ思ったのは二十代の頃だった。書いた魯迅の年齢と、読んでいる自分が同年代であることに痛みを憶えた。

そして唐突にも、最近観た韓国TVドラマの「緑豆（ノクト）の花」に、あらためて粛然としている。「夜郎自大」の故事や、「事大主義」という思考が、同じジダイという語音で頭の中を駆け巡る。

島国である日本が、島国である故に、自らを「島国根性」と自嘲していたあの戦後復興の時代を、再び思い起こしてみなければならない時なのだろう。

## 今後を見据えた物流への取り組み

弊社では、2018年11月に本社（静岡県磐田市）、翌年4月に関東橋本デポ（神奈川県相模原市）にて一般貨物自動車運送業を取得し4年目になります。これまで様々な取り組みを行ってきました。

**①現場の状況、搬入経路等の現場調査を実施し、報告書を作成する事で、スムーズな搬入計画を立案**

**②ユニック車による、2階以上への荷揚げ作業の廃止**

**③集中する時間帯を避けた分散配送計画**

皆様のご協力のお陰で、現場搬入時におけるトラブルは年々減少し、作業の効率化に繋がっております。

しかし、今後は時間外労働の上限規制などに代表される『働き方改革関連法』の施行に伴い、物流業界で生じる様々な問題が懸念されます。（二〇二四年問題）

※働き方改革関連法　一部抜粋
・時間外労働の上限規制
【通常】　年／360時間
【特別条項】　年／720時間
・月60時間超えの時間外労働に対する賃上げ
・労働時間の確実な把握
・勤務時間インターバル制度の普及促進

等、多岐に渡ります。

更に、現場までの移動時間、荷の積降時間は勿論、**現場での待機時間**も労働時間に算入されます。

そこで配送部では、①～③は今後も継続しつつ、新たに次項の改善に取り組みます。

**◎現場待機の時間短縮**
**現調結果を元に、現場状況を把握した上での搬入方法の提案**
**◎納品日1週間前の日程確定**
**綿密な配送計画を行い、早めの搬入車両の確保**

これらを実現する為には、弊社と取引先各位の協力が不可欠であります。

今後も、引き続き安心安全な現場作業と、効率的な搬入を目標に、サービス向上・提供を使命とし、業務に従事して参ります。

配送部　小竹　雅也

## 編集後記

先月の台風15号は、スカイ本社がある磐田市にも大きな被害をもたらしました。一刻も早い復旧作業と共に、水害への対策、備えを常日頃から考えていく必要があると強く思います。